

## 日本介護支援専門員協会全国大会in 石川 参加報告（1～3面）

### 全体を通しての学び、感じたこと

じゃんけんぽん地域生活支援室 須田 和也

8月26日、27日の2日間をかけて石川県金沢市で日本介護支援専門員協会全国大会が開催され参加いたしました。大会は

#### 「地域・かがやき・暮らし」～今、介護支援専門員に求められている役割を果たす～



をテーマに、基調講演や記念講演、5つの各分科会、ポスターセッションなど、制度改正への今後の流れや、全国各地でのケアマネジャーとしての取り組みなどを学ぶことができました。

1日目終了後の懇親会では、全国各地から参加したケアマネジャーとの交流も行え、それぞれの熱い思いや、いろいろな地域の方々との情報交換など新たな出会いがあり、つながりを作ることもできました。

大会の数多くのプログラムの中で特に印象に残った内容は2日目の記念講演でした。「人が動き、町が動く一過疎集落からの脱却！！」と題した高野誠鮮先生の講演は、高野先生自身が過疎地域の公務員時代だった取り組みなどが紹介されており、我々ケアマネジャーに今求められている地域マネジメントや地域作りの視点において良いヒントになりました。

日本介護支援専門員協会の全国大会は毎年1回開催され、来年は福岡県で開催されます。都道府県を超えて研修会に参加することは、費用面から見ても負担のかかることだとは思いますが、費用負担をただけの学びや全国のケアマネジャーの同志とのつながりもできます。是非、来年、皆様も一緒に参加しましょう。

## 全国に広がる仲間、実践の発表、全国大会ならではの楽しみ ～発表を通じて～

社会福祉法人 青風舎 ケアハウスきょうめ 新井 薫



昨年の札幌に続き、今年も日本介護支援専門員協会全国大会に参加させていただきました。

私の参加させていただいた研究事例発表、第一分科会は「医療と介護」をテーマに8名の発表がありました。個人、事業所単位にとどまらず、地域をも巻き込んだ様々な取組みの報告がなされ、面白い視点からの医療と介護の連携における課題、また先進的な取組みの報告を聞くことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

今回、「終末期に必要な介護度とチーム育成への取組み」～癌終末期のマネジメントを通して見えて来た終末期に必要な介護度とチームケアの視点・意識・取組み～と題し発表をさせていただきました。分科会打

合せでは、他の発表者との意見交換も活発に行われ、座長の池端先生には「医療職出身でないケアマネジャーが終末期に取り組んでいることに大きな意義がある」と、とても嬉しいお言葉を頂戴しました。発表後の質疑応答では、会場から「この発表内容を国に届けて欲しい」との発言に大きな拍手が上がり、共に悩み学ぶ仲間が全国にいる事を実感いたしました。また、香川県の大原先生始め数名の方々から、お声かけや資料を求める声をいただくことができました。

懇親会では他県のケアマネジャーと話に花を咲かせ、大いに飲み（！）自分達の日々の悩みを共有する、幸せな時間を過ごすことができました。まだ日本協会に加入されていない方がおられるなら、是非ご加入されて、多くの仲間と楽しく仕事ができるよう声を上げていきませんか？

来年は福岡開催だそうです。美味しい食べ物とお酒がある土地です。来年に向けて、コツコツ貯金を始めようと思っています…。

## 全国大会で今の素直な思いを発表して

ケアプランセンターねむの丘 飯嶋 寛

8月26日～27日 日本介護支援専門員協会全国大会 in 石川に参加してきました。大会当日は全国から1,000名を超えるケアマネジャーが集まり、分科会やポスターセッションでは多くの方が観覧され、各会場とも熱気にあふれた様子でこの大会の注目度の高さが覗えました。

発表内容ですが、居宅ケアマネジャーとして働きながら感じた疑問や辛い体験を糧にし、「群馬県ケアマネジメント研究会ユーザーセッション」に参加して学んだこと、感じたことを日々の業務で実践していくことで、自分自身の心情や行動が変化していく様子を伝えています。全国大会ということでの気負いや緊張はなく、自分の言葉でしっかりとポスターセッションの発表ができ、他県のケアマネジャー様から「初心に戻れて良かった」「感動しました」と声をかけていただき、とても嬉しい気持ちになったことが一番印象に残りました。

自分の発表 他県の方の発表 ポスターセッション以外の分科会での発表を通して自分自身の未熟な部分が理解でき、これから多くの事を経験し勉強しながらさらにステップアップしていきたいと強く感じました。これからも向上心を忘れず、もう一度全国大会の舞台に立ち、今回以上の達成感とたくさんの方々の心に届くような発表ができるように頑張りたいと思っています。



# ケアマネジメント群馬フォーラム XIV in 北中毛の開催にあたって

ケアマネジメント群馬フォーラムXIV in 北中毛  
大会長 高玉 真光

群馬県のケアマネジメントフォーラムは毎年6月に行われておりましたが、今年は11月に行います。これは平成30年度の医療保険と介護保険の同時改定に向けて、その大枠が定まり、これに対して今後の介護保険について皆様と勉強するためです。

午前中の事例発表では、ケアプランの作成や利用する方々を一生懸命支えている現状を知って頂くために、ケアマネジャーの方々より広く演題を募集しましたところ、20題を超える応募があり、本当にありがたいと思っております。障害を持つ高齢者や認知症に陥った高齢者の生活を支えるケアマネジメント、また人生の最期を迎えるに当たったケアプランの作成など、日頃のご苦心の状況が現れているものが多く見られました。

また、午後の基調講演①には、厚生労働省介護保険指導室長の遠藤征也様による「地域共生社会構築に向けての介護支援専門員に求められる役割(仮)」。基調講演②としては、介護福祉ジャーナリストの田中元様による「平成30年度からの介護保険見直しで、介護支援専門員の仕事はどう変わるか」についてお話頂けるよう計画いたしました。さらにランチョンセミナーとしては、本会の会長である大澤誠先生、群馬大学名誉教授の山口晴保先生、および伊勢崎市民病院の鈴木一也先生が、高齢者のケアをする上で大切なお話をしてくださる予定です。

今年のフォーラムは多くの介護支援専門員の方にお集まり頂き、これからの高齢者の介護・看護について、現場からの発言を多くの人々に知って頂きたいと思っております。

今回の開催にあたり、県内の各関係団体・機関、および多くの医療・介護に役立つ製薬会社の方々にご協力頂いたことをありがたく思っております。

# 理事会・委員会報告

## 理事会

会長 大澤 誠

介護支援専門員実務研修受講試験対策講座が終わりました。今回、現役ケアマネジャーの知識のブラッシュアップ講座も兼ねての開催でしたが、参加者は50名を割り込みました（現役ケアマネジャーの参加は4名）。次年度は、3日間コースなど期間を短縮し、受講料を半額にするなど検討していきます。

専門研修では従来のコース別が出来なくなってしまいました。施設と居宅は実践論として違いますが、現状では施設ケアマネジメントを深めるのは難しい。その為協会の中で部会を設置し、施設ケアマネジャーの研鑽を積む手助けをしたいと考えています。

平成29年度申請（30年度事業）共同募金配分申請については、市民公開講座の開催を検討していきます。

## 総務財政委員会

総務財政委員長 松沢 斉

29年度も上半期が過ぎました。現時点の会員数はすでに昨年並みにはなっています。会員として継続していただいている方、新規にご入会いただいた方にはあらためて感謝申し上げます。でもここで安心してはいけません。新規の入会者が100人いたとして、それでも昨年並みということは会員継続していない人も100人いるということ！きっとあなたの近くにも今年度の会費を払い忘れている人がいるはずです。どうか周囲を見回してお声掛けください、今年の会費払った？まだだったら早く入れてあげてね！と。

協会の収入はひとえに会員の皆様の会費によっています。協会の安定運営のために会員一人ひとりができること、皆様のご協力を切にお願いいたします。

## 学術研修委員会

学術研修委員長 菅野 圭一

今年度も、「ケアマネ対策講座参加企画」が無事終了しました。参加した皆様の合格を心よりお祈りしております。さて、保有資格による解答免除廃止に伴い、2年前より講座の日程が1日増えたことも影響したのか、最近受講者の大幅減少に悩まされています。このため、来年度に向けて大幅な改善策が必要と考えています。また、詳細が決まりましたら皆様にお知らせいたしますので、ぜひお近くの介護支援専門員資格取得希望者に宣伝いただくとありがたいです。

## 広報情報委員会

広報情報委員長 松本 勝美

ケアマネ群馬105号を発行しました。現在ケアマネ群馬106号の編集をしております。また、ホームページリニューアルに向けて専門業者に作成を依頼いたしました。お目見えするのは少し先になりますが、楽しみにお待ちください。11月12日に開催される「ケアマネジメント群馬フォーラムXIV in北中毛」では、参加した方々へ原稿のご依頼をさせていただきます。快くお引き受け下さいますようお願い申し上げます。

# 支部情報

## 高崎・安中支部

9月9日（土）13：30～16：30 安中市役所会議室にて講師に安中市地域包括支援センター大塚係長をお招きして「自立支援型ケアマネジメントの実践力を高める」と題して参加者54名の研修会が開催されました。前半を講義、後半は事例をもとに施設ケアマネジャー、居宅ケアマネジャー、1グループ5～6名のグループワークでケアプランを作成し、最後に作成したケアプランの発表を行いました。講義ではアセスメントの考え方などの多様な視点を持つという事など、グループワークではケアプランの記載方法や考え方など様々な視点からの意見を聞くことができ、新たな気づきも得られました。



ケアプランを一緒に作成していく中では、表現や言葉をどのように記載するかという調整にも苦慮しました。あっという間に時間が経過し充実した時間を過ごすことができ、計画書の見直しや作成時に保険外サービスや新たなサービスなど最も合ったサービスが提案できるように、情報収集も積極的に行いたいと感じました。また担当者会議、計画書の説明にも意識し、参加者に自立支援へつなげるよう働きかけを行っていきたく改めて感じました。

（安中市居宅介護支援事業所 岡田 裕也）

## 伊勢崎支部

9月5日（火）19：00～21：00、伊勢崎敬愛看護学院3階大ホールにて伊勢崎支部（伊勢崎佐波ケアマネジャーの会）と伊勢崎佐波医師会の合同研修「他職種事例検討会」が開催されました。伊勢崎支部では、医療が苦手というケアマネジャーを支援するため、定期的に医療に関する研修会「在宅支援塾」を開催しています。今回は医師会の「在宅医療塾」との合同企画です。参加者は医師、ケアマネジャー、訪問看護師、県の在宅包括ケア推進室の職員、他55名。



9つのグループに分かれて、ケアマネジャーより紹介された「在宅医がいなくて困った」という事例について「どのように在宅医へつなげたらよいか？」など、熱心に意見交換がなされました。

（知恵袋 柳澤 久子）

## 沼田支部



9月11日(月)18時30分から平成29年度第1回の研修会を開催し、駒澤大学・荒井浩道教授を講師に招き、「ケアマネジャーのためのナラティブ・アプローチ」というテーマでご講演頂きました。これから長い1週間が始まるという月曜日の夜でしたが、60名が参加し熱心に耳を傾けていました。

日頃私たちケアマネジャーは、支援を必要とする利用者の話を伺い(面接)解決すべき課題を分析・把握し、必要な支援に結びつけます。講演の中で、面接は「教えるのではなく、教えてもらうという姿勢」また「良い部分を見る」という視点の大切さを教えて頂き、今まで真の課題を引き出せていたか? 正当論や専門的な知識のみを押しつけていなかったか? 本当に「支援的」であったか改めて考えさせられました。

「会話は続かないと意味がない」という先生のお言葉通り、会話(面談)の中から支援が始まります。多くの書類や雑務に追われ忙しい日々ですが、少しでも同じ時間、同じ場所で、同じ物語(ナラティブ)を利用者の方と共有していきたいと思いました。

(やまぶきの苑 阿部 光代)

## 桐生・みどり支部

10月12日(木)19時より桐生市市民文化会館スカイホールにて「第8回桐生市、みどり市 医師・介護支援専門員合同研修会」が開催され130名の参加がありました。今年は第1部に特別講演として、前橋市医師会理事の下田隆也先生をお招きして「私の人生ノートとアドバンスケアプランニング」と題し講演をしていただきました。そして第2部も引き続き先生には同席をいただき、「あなたはどんな“最期を迎えたいですか?”」というテーマでグループワークを行いました。

講演を聞きながら、日頃ケアマネジャーとして関わっている人の人生に携わっていることの重みを感じ、その人がどんな最期を迎えたいのかというデリケートな部分に耳を傾けることが出来るのであろうかという思いをいただきながら拝聴しました。そして「自分らしく」という言葉を改めて考えてみたいと思いました。グループワークでも活発な意見交換がなされました。最期は自宅という思いはありますが、環境が整わなければ叶わないことかもしれません。「たとえ施設や病院にいても、最期に意識があったら1日でも自宅に戻りたい」などという意見が印象的でした。誰にでもある素直な感情ではないかと思います。何かのきっかけがあって話が出るなら、家族と話してみたいと思います。そして自分のエンディングノートを書いてみようと思います。

(みどり市社会福祉協議会居宅介護支援事業所大間々 小林 秀子)



## コラム

### 24時間356日身を置く場に、あなたは何を求めますか？

先日94歳となった私の父は、現在要介護4で、老舗(?)の特別養護老人ホームに入居してもうすぐ1年になります。面会に行くたびに思うのは「穏やかないい表情をしているなー」ということ。日々を心穏やかに過ごせている様子がその表情からうかがえます。気持ちを平らかに過ごせているからか、高齢にも関わらず健康状態も安定しています。

さて、冒頭の問いに私は“事業所のもつ空気感”をあげます。「ケアマネジメントに携わる者が何という曖昧なことを！」と叱られそうですが、自由に動けなくなった身にとって、その身を囲む空気感というのは本当に大切なものだと思うのです。それを生み出しているものの積み重ねに思いをはせていただければ、ご理解いただけるのではないのでしょうか。

尚、県のホームページ⇒健康・福祉⇒高齢者・介護⇒施設・事業者⇒介護サービス情報の公表⇒介護サービス情報公表システムへと進んでのぞいてみてください。介護サービスの情報を提供する公的な仕組みです。こちらでもご紹介しておきます。専門的でちょっと難しいかもしれませんが。

(基礎資格 社会福祉主事 KR)

## 事務局からのお願い

### 平成29年度会費の納入はお済みでしょうか 再度ご確認をよろしくお願いいたします

会員の皆様には日頃より本会の運営に関しましてご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、平成29年度会費の納入はお済みでしょうか。本会は会員の皆様の会費により運営いたしております。会費納入にご協力の程を、よろしくお願いいたします。また、本会では会員の皆様に会報や研修会のご案内をお送りしております。これらのご案内は次号から会費を納入下さった方に限定させていただきます。

なお、これ以後は会費納入の確認ができ次第ご案内をお送りする予定です。また、ご不明なこと等がございましたら、事務局までご連絡ください。

### 会員登録に変更のある方へ(お願い)

住所変更・勤務先変更等のある方は変更届のご提出をお願いいたします。提出いただけない場合には、郵便物等お届けできなくなってしまいます。変更届・入会申込書・退会届につきましては、本会ホームページより《事務局から→変更届(こちらから)・退会届(こちらから)》からダウンロードしていただき、必要事項を記入しFAX送信していただくか、本会事務局までお問い合わせください。

一社)群馬県介護支援専門員協会事務局(群馬県社会福祉協議会 地域福祉課内)

TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6173

事務担当 新井



「自分の価値観に見合った結果を手になければ、過程なんて問題じゃない！」なんていう動きがやたら多いと思いませんか。そんな大人たちの姿を目にして育つ子どもたち、反面教師として受け止めてくれればいいのですが… 私たちが取り組むケアマネジメントは過程がとても大切で、それをおろそかにすると結果も自ずと間違った方向に逸れてしまいます。冒頭に記した人々には、是非ともケアマネジメントを学んでほしいものです。無理な注文ですけど(苦笑)(こ)